

本講演を聴講後下記の質問、問1～4にお答えください。

問1、()の中を埋めてください。

- ・日本のCKD患者は（ 増加 ）している。
- ・（ eGFR スロープ ）は腎予後の予測因子となりうる
- ・Sick day ruleで注意が必要となる薬剤は、SGLT2阻害薬、RAS阻害薬、（ 利尿剤、メトホルミン、NSAIDsのどれか ）である。

問2、減塩の効果をご記入ください

RAS阻害薬の降圧効果増強、たんぱく制限食の効果増強

問3 下記の文章に対して正しければ○、間違っていれば×を回答してください

高血圧管理・治療ガイドラインの中でCKD患者の降圧薬の選択に蛋白尿の有無は関係ない。

×、蛋白尿の有無を参考に降圧薬を選択する

問4 薬局薬剤師によるCKD患者の服薬指導、療養支援をどう考えますか？（自由記載）

最後に、本セミナーに対してご意見ご要望がありましたらご記入の程、宜しくお願い致します。